

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

⑩実用新案公報

④公告 昭和45年(1970)12月10日

(全3頁)

1

⑤生理帯

⑥実 願 昭42-59956  
⑦出 願 昭42(1967)7月11日  
⑧考 案 者 清浄三郎  
          樺原市大軽町95  
⑨出 願 人 株式会社新生商会  
          樺原市大軽町71  
代 表 者 谷口貞次郎  
代 理 人 弁理士 中村義一

図面の簡単な説明

第1図は本案生理帯の要部平面図、第2図は着用時の要部縦断面図、第3図は第2図のX-X線に於ける拡大断面図、第4図は従来の生理帯を着用したときの縦断面図、第5図は第4図のY-Y線に於ける断面図である。

考案の詳細な説明

本考案は生理帯の改良に係るものであつて、股布片1の内側両側縁にゴム糸或いは弾性繊維糸でなる伸縮テープ2、2を縫着又は一体に編成された網布3を伸張状態で前半部周縁部4と後半部後端4'のみを股布片1に縫着して後半部両側縁を開放することに依つて着用の際にナブキンを局部に密接せしめるようにしたものである。

生理帯なるものは使用するナブキンを使用者の行往座臥に際して所定位置からずれることなく保持し経血を漏洩させないようにすることを本来の目的とするものであるに關らず、従来の生理帯に於いては股布の内面に網等を縫着して其の上面にのせられたナブキンが所定位置からずれないようにされており、此の生理帯を着用すれば第4図、第5図に示すようにその前半部は比較的肌に密接するか局部から臀部に亙る後半部に於ては股布片が両側臀部に懸架されて中央部凹溝部に大きな空隙箇所が生じナブキンは局部に密接することなく垂れ下ることになり、従つて特に就寝時等に於いて局部から流出した経血が凹溝部に沿つて流れたと

2

きナブキンに充分吸収されず漏出することが屢々あつた。

さればとて股布片全体を凹溝部の生じないように締め付けるようにすれば歩行に際して所謂股ずれが生じるので実際には使用出来ない。

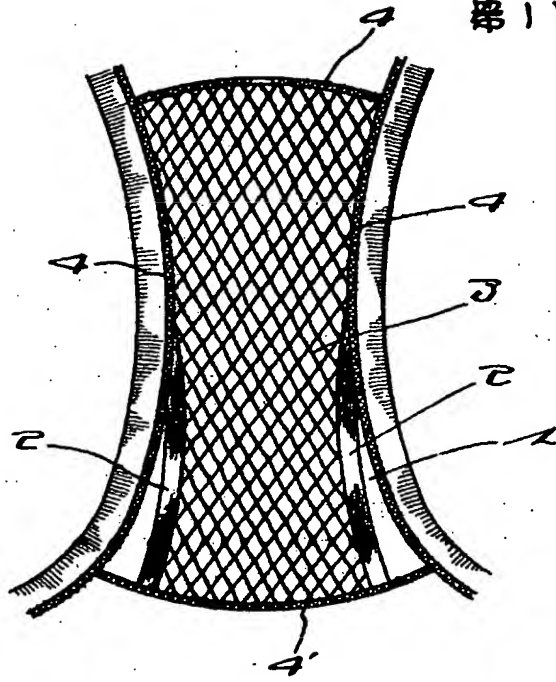
之を本案にては上記したように生理帯の股布片1内面に、両側縁にゴム糸又は弾性繊維糸の伸縮テープ2付き網布3を引き伸ばした状態でその前半部と後半部後端のみで股布に縫着4、4'したものであるから、網布3は引吊られて常時股布面より浮上り勝手となり、殊にその後半部は両側縁が完全に股布と遊離しているので両側の伸縮テープ2、2により直線状に緊張しようとし、着用に及んで第3図に示す如く網布3上に載置したナブキンNの後半部を局部近傍の凹溝部に沿い逆V字型に喰込ませて空隙Aを埋め、又当然ナブキン前半部は網布3の緊張により局部の肌に密接されて固定保持されることになるのである。即ちナブキンは常に緊張状態の網布によつて肌に押付けられているのであるから体を動かしても体の動きに応じて肌との密接状態を保持しながら変形するので所定位置から全くずれることがない。一方股布は第2図及び第3図に示すよう従来通り垂れ下つて

25 15 30 35

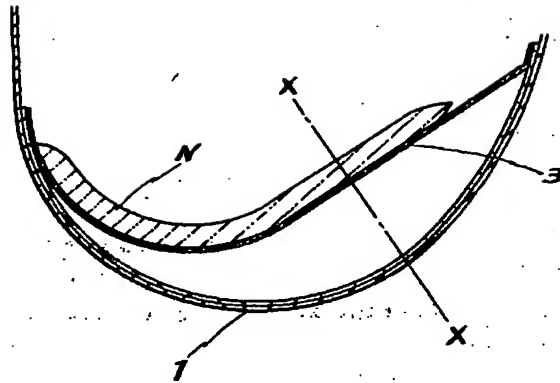
実用新案登録請求の範囲

両側縁にゴム糸又は弾性繊維糸からなる伸縮テープを縫着又は一体に編み込んだ網布を伸張状態で後半部両側縁を残してその前半部の周縁と後端縁のみを股布片内面に縫着することに依り着用の際に網布が股布面から浮き上り、ナブキンNの後半部を逆V字状に局部に喰込ませるようなことを特徴とする生理帯。

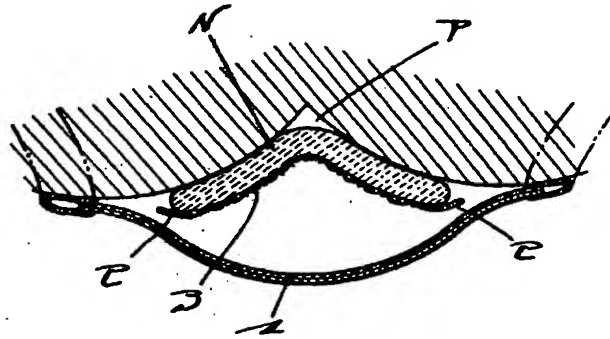
第 1 图



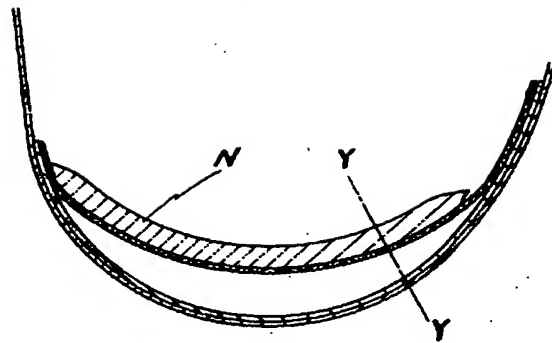
第 2 图



第3図



第4図



第5図

